

## Title: 「FWH記」



橋 武佐志  
人間として、写真家としてひとまわり成長する旅にしたいです。

## ● 最近のエントリー

- ☑ 只今、KL (2010.05.22)
- ☑ キナバル山の記録 (2010.05.16)
- ☑ Mt.kinabalu3 (2010.05.10)
- ☑ Mt.kinabalu2 (2010.05.10)

## ● アーカイブ

- ☑ 2011年06月
- ☑ 2011年01月
- ☑ 2010年11月
- ☑ 2010年10月
- ☑ 2010年09月
- ☑ 2010年08月
- ☑ 2010年07月
- ☑ 2010年06月
- ☑ 2010年05月
- ☑ 2010年04月
- ☑ 2010年03月

## ● 投稿カレンダー

## ● カテゴリー一覧

## ● ブックマーク

学校法人 日本写真芸術専門学校  
NIPPON PHOTOGRAPHY INSTITUTE

**OLYMPUS**  
Your Vision, Our Future



RSS 2.0

「FWH記」 > 2010年05月 アーカイブ

10.05.22

## 只今、KL

[Tweet](#)

[Check](#)

8日間連続でチャージャー飯を食べている橋です。  
早いもので5期生のフィールドワークも2ヶ月が過ぎ、明日(23日)に1回目のスクーリングが行われます。

大きな事件、事故に巻き込まれることもなく前半のスクーリングを迎えることができます。  
学校関係者の皆様、またプリント用紙、印画紙等ご提供くださいます、オリンパス株式会社様、オリンパスイメージング株式会社様、富士フイルム株式会社様、株式会社堀内カラー様、株式会社ビクトリコ様本当にありがとうございます。

前半戦の大きな山場であるスクーリングの内容をしっかりと受け止めたいとおもいます。

それではおやすみなさい。

カテゴリ:

post by 橋 武佐志 | 日時: 2010.05.22 | [パーマリンク](#) | [コメント \(0\)](#) | [トラックバック \(0\)](#)

「FWH記」 > 2010年05月 アーカイブ

10.05.16

## キナバル山の記録

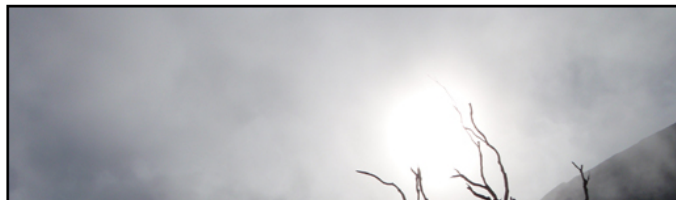
[Tweet](#)

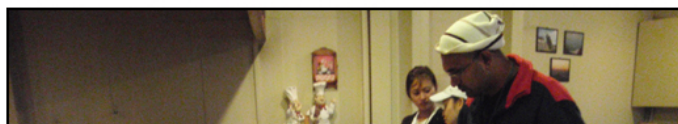
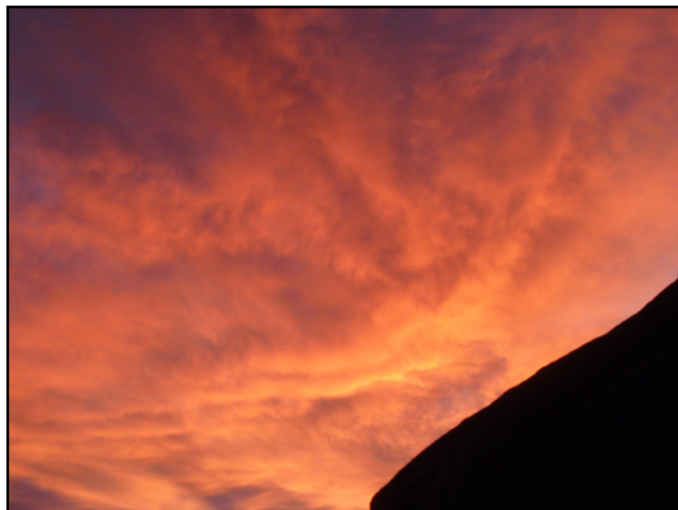
[Check](#)

キナバル山の登山の動画について様々な方からコメントを頂きました。  
ありがとうございました。  
その中で、動画の他にも登山経過の写真が見たいというご感想も頂きましたので何枚かアップして、紹介したいとおもいます。













キナバル山制覇の証。

登山後2～3日間は激しい筋肉痛に襲われ宿でおとなしくしていました。  
同室のチェコ人のおじさんが心配してくれ病気ではなく、キナバル山を登山したと説明すると、  
ビールを買ってきてくれ祝杯をあげてくれました。







カテゴリ：  
post by 橋 武佐志 | 日時: 2010.05.16 | [パーマリンク](#) | [コメント \(4\)](#) | [トラックバック \(0\)](#)

「FW日記」 > 2010年05月 アーカイブ

10.05.10

## Mt.kinabalu3

[Tweet](#)

[Check](#)

最後の動画でした。  
3本全て見て下さった皆様、しょうもない動画につき合っ下さりありがとうございました。

動画には写っていませんが、何かを達成し、自然と涙がこぼれたのは初めての体験でした。  
中学の部活の最終戦が終わっても、高校の卒業式でも涙がこぼれたことは一度もありません。

この涙はどこからやってくるのでしょうか？

4ヶ月後のフィールドワーク全行程終了後にもあいつはこぼれてくるのでしょうか？

カテゴリ：  
post by 橋 武佐志 | 日時: 2010.05.10 | [パーマリンク](#) | [コメント \(7\)](#) | [トラックバック \(0\)](#)

「FW日記」 > 2010年05月 アーカイブ

## Mt.kinabalu 2

[Tweet](#)

[Check](#)

カテゴリ：  
post by 橋 武佐志 | 日時: 2010.05.10 | [パーマリンク](#) | [コメント \(0\)](#) | [トラックバック \(0\)](#)

「FW日記」 > 2010年05月 アーカイブ

## Mt.kinabalu

[Tweet](#)

[Check](#)



東南アジアー高いキナバル山に挑みました。

なぜ山に登ったのかと聞かれたら  
こう答えます。

『そこにキナバル山があったからだ』  
と。

3つほど動画をアップしたいとおもいます。

なぜか登山開始と終了時の動画を撮り損ねました。  
キナバル山はそれほど私を興奮させました。

本格的な登山は初めてでした。  
富士山など登ったことなどありません。  
箱根のトレッキングコース（石畳などの山道）もバスでこえました。  
唯一あるとしたら地元の城山と呼ばれている山くらいです。  
はじめの方に書きましたように登山開始と終了時の動画を撮り損ねたので  
宿泊先である3272m地点のラバン・ラタ・レストハウスからとなります。  
登山開始と終了時、登山経路などの動画はFW6期生以降に託します！！

良かったら見て下さい。

カテゴリ：

post by 橋 武佐志 | 日時: 2010.05.10 | [パーマリンク](#) | [コメント \(0\)](#) | [トラックバック \(0\)](#)

「FW日記」 > 2010年05月 アーカイブ

10.05.05

## レベルUPの感覚

[Tweet](#)

[Check](#)



施設滞在中にKLセントラルに近いメガモールという名前からしてもわかるように、もの凄くデカイ大型ショッピングモールに行きました。

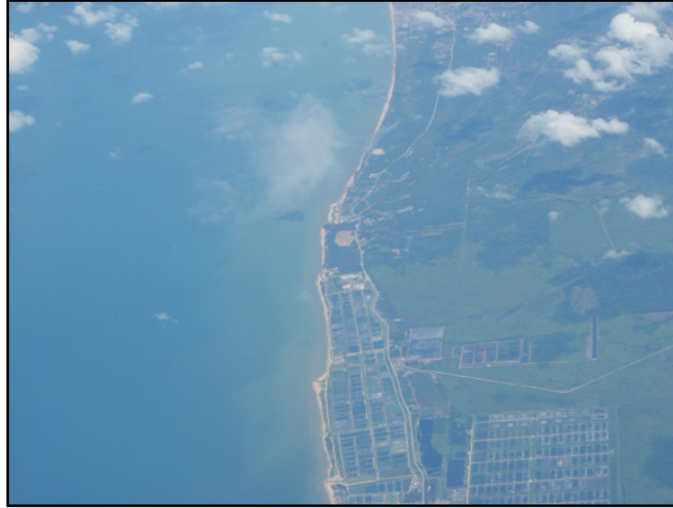
ぼろぼろになった衣類や撮影に使うモロモロを買いに行ったはずが肉体がぼろぼろに。

とにかくでかいし、休日ということもあり人がめちゃくちゃ多い・・・。

メガモールにはゲームセンターやボウリング場、映画館からフードコート、ブランドショップにジスコまで入っており、そろわない品物はないと言っても良いくらい何でもある。

そんな日々を過ごし、マレーシアでの撮影開始の日がやってきた。

あの不安やら楽しみやらドキドキやらワクワクやらのいるいるな感情が混ざり合った感覚。だいぶ久しい気がする。



FW出発前は一人で飛行機なんか乗れんのかな〜とか、宿の手配ってどうすんのかな〜とか、そもそもE-チケットって何？

そんな俺が一人で飛行機に乗り、知らない土地でコーディネーターの方と待ち合わせして、撮影して・・・。

なんかRPGみたいだな〜と思う。

行ったことのない土地に行き、

いるいるな人に出会い話を聞き、撮影し、また次の土地を目指す。

その道中に敵はいないが、自分の中の写真に対する葛藤やら疑問やらと戦い、

指定泊である町にたどり着く。

そこで次の旅に備え、装備を整える。

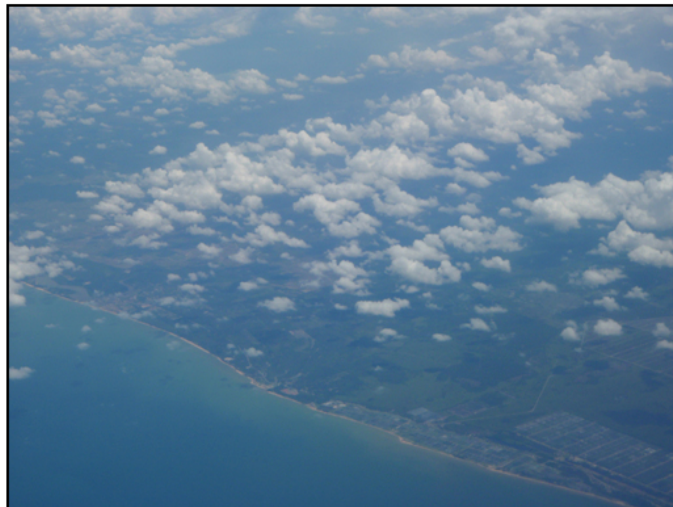
剣ではなく券を買い、コーラという名のポーションを買う。

もちろん技もいろいろ覚える。

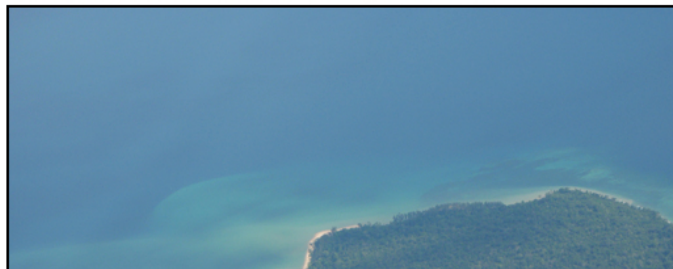
現在覚えている技は

- ・チケット手配(Lv2)
- ・宿手配(Lv2)
- ・シカト(Lv3)
- ・道路渡り(Lv2:ベトナムで取得)
- ・ATM(Lv2:海外対応ATM)
- ・英語(Lv1)

※Lv3が最高値



どこかで能力値を上げられるドーピング的なものは売っていないのか・・・

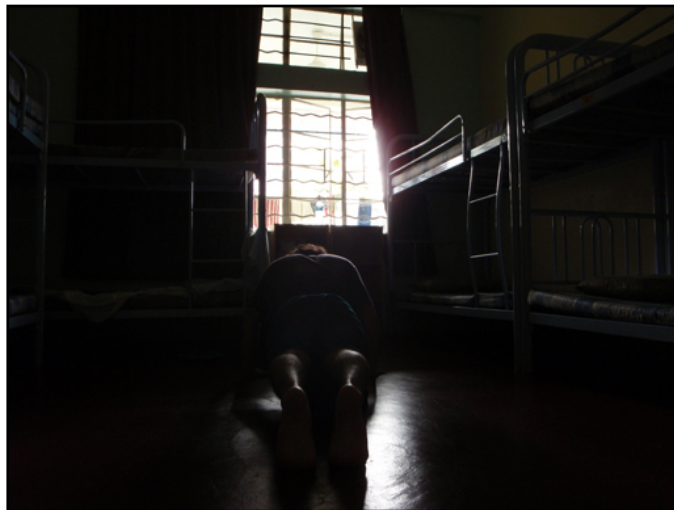




自分のレベルはわからない・・・



一人の時はドミトリーに良く泊まる。  
 もちろん安いということは言うまでもないが、世界中から来るバックパッカーのほとんどが英語を話せるので、コミュニケーションや会話の良い練習になるからだ。  
 昨日は同室のフィンランド出身のSana(サナ)に誘われ夕食を共に。  
 五十嵐先生がおっしゃっていた現在完了と関係代名詞で英語の会話が広がると言うのは本当ですね。(疑っていたわけではありません)  
 今日のいつコタキナバルについての？とか  
 あの看板の赤いお店は？とか  
 あっ、授業でやった！！と思われるフレーズが何回も飛び出してきました。  
 早く英語のレベルも上げなくては・・・。



フィールドワークの攻略本はどこにも売っていないようです。

カテゴリ:

post by 橋 武佐志 | 日時: 2010.05.05 | [パーマリンク](#) | [コメント \(3\)](#) | [トラックバック \(0\)](#)

[「FW日記」 > 2010年05月 アーカイブ](#)

10.05.01

## カンボジアからマレーシア

[Tweet](#)

[Check](#)

先日のブログに書きましたように、カンボジアでの様子をまとめたいとおもいます。

カンボジアではKHJ (クメール・ジャパン: <http://khj-group.com.kh/>) 様にお世話のなり撮影をおこないました。

ゴミ山やスラムなど様々な所に案内して頂きました。  
 ありがとうございます。





(諸事情により写真が2枚しか撮影できませんでした)

カンボジアで撮影のリズムと感覚がだんだんつかめてきました。タイもこの調子で撮影を進めていこうと思った矢先、先日のブログにも書いたようにタイの情勢不安により急遽マレーシアに行くことになりました。

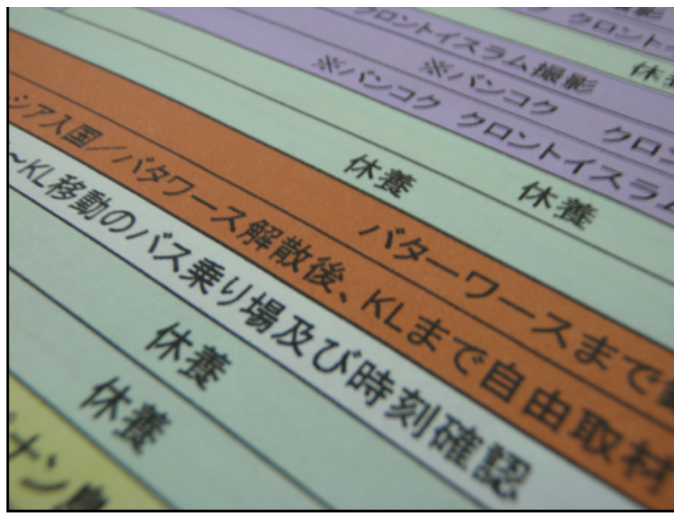
本当に残念ですが、そこは切り替えて今すべきことは何か、やらなければいけないことはなにかを考えて臨機応変に対応していかなければなりません。それも含めてフィールドワークなのだとことを改めて感じました。



マレーシアに着くと、卒業生のウォンさんとFW1期生の徳田さんが暖かく迎えてくれました。



しかし、ゆっくりとはしてられません。タイでの撮影が白紙になったのでその分の2週間弱の予定を作り直さなければなりません。



ウォンさん徳田さんは相談をととても真面目に聞いてくれて、適切なアドバイスをしてくれます。



そんな新行動計画書をつくっている中で、休憩がてら食べる徳田さんおすすめのチャーシュー飯は最高にうまいです！！

カテゴリ：

post by 橋 武佐志 | 日時: 2010.05.01 | [パーマリンク](#) | [コメント \(8\)](#) | [トラックバック \(0\)](#)